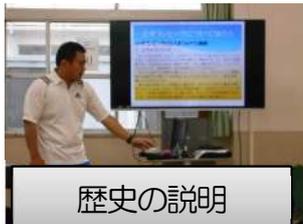


# 平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

### 道府県・政令市名【北九州市】

1 実践テーマ	【I, III】
2 実施対象者	北九州市立曾根中学校 全校生徒 627名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 保健体育 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( パラ・パワーリフティング体験会 ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、実施競技等の学習やパラ・パワーリフティングの講演会等の体験学習を通して、スポーツの価値や効果について理解するとともに、国際的な視野をもって世界の平和に気づき、そのために社会に貢献しようという思いを抱かせる。
5 取組内容	<p>1、事前学習 パラ・パワーリフティング講演会を開催するにあたって、オリンピックの意義や、歴史、競技の種類、オリ・パラ教育の意義、パラリンピックについてなどパワーポイントオリンピック・パラリンピックのパネル教材などを使って授業を行った。</p> <p>・事前学習の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>歴史の説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3年生の生徒</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パネルクイズ</p> </div> </div> <p>2、パラ・パワーリフティング講演会およびアジア&amp;オセアニア大会の応援 パラ・パワーリフティングの日本記録保持者である城隆志選手にお越しいただき、講演、実演、体験、質疑応答などを行った。城選手が競技を通じて得た経験・教訓を交えて競技の魅力やその醍醐味について講話をしていただいた。 「2018北九州ワールドパラ・パワーリフティング アジア&amp;オセアニアオープン選手権大会」が北九州芸術劇場で開催された。この大会は日本で初めて開催されるパラ・パワーリフティングの国際大会であり、東京パラリンピックの選考をかねた重要な大会である。この大会に城隆志選手が出場するということもあり、有志を募り大会応援に参加し、生徒がデザインした横断幕を持って熱の入った応援を行った。日曜日の夜の開催であったため、有志というかたちでの応援となったが、後日、学校で報告する機会をもつことで、感動の共有を図った。</p>

・講演会の様子



城選手の講話



生徒の実技体験



ポイントの説明



城選手の実演



お礼の花束

・アジア&オセアニアオープン選手権大会の様子



選手紹介



城選手1ラウンド目



城選手2ラウンド目



記念撮影

3、オリンピック・パラリンピック新聞作成

体育科の授業でオリンピックの意義や、歴史、競技の種類、オリ・パラ教育の意義、パラリンピックについてなどパワーポイントなどを使って授業を行った。その後、クラスを8グループに分けて、グループ毎にオリンピックから1競技、パラリンピックから1競技を選択させ、調べ学習を行った。完成したものは校内に掲示して、2020東京オリンピック・パラリンピックまで啓発資料として使用する。

・新聞作成の様子



競技の説明1



競技の説明2



新聞作成の様子



記事のまとめ



調べ学習1



調べ学習2

オリンピックのスポーツクライミングと、パラリンピックのボッチャを調べてまとめたもの。今後はオリパラ啓発資料として活用する。



生徒がまとめた新聞

6 主な成果

1、事前学習について

○ オリンピックは「平和の祭典」といわれている。この言葉の意味をほとんどの生徒が理解できていなかった。今回の取り組みを通してスポーツの意義、オリンピックの歴史、パラリンピックの成り立ちと必要性など、多くの事柄を学習することで、「平和の祭典」の意味を理解し、スポーツに対する興味・関心はもちろんのこと、様々な競技に関して「もっと知りたい」という新たな思考が生まれた。さらには、部活動や習い事でおこなっている身近な競技と関連付

	<p>けて、自ら考え、調べ、学ぶ様子が見られるようになった。</p> <p>2、パラ・パワーリフティング講演会および大会の応援</p> <p>○ 実際に国際大会で活躍している城選手にお越しいただいて、講話していただいた。障害がある方が思っていること、生活をする上で大変なこと、何より絶望の淵から這い上がっていくリアルな体験を当事者から聞くことで、「自分にできることは何かあるのか」、「困っている方がいたらどのように行動するか」など生徒一人ひとりが考えさせられるすばらしい講話であった。</p> <p>また、実際に力自慢の生徒や先生が一生懸命にバーベルを持ち上げるのを見たり、そのバーベルを軽々と城選手が持ち上げるのを見たりして、その姿に感動し、今までやってきた選手の努力に尊敬の念を抱いた。</p> <p>さらに、大会の応援に参加し、世界のレベルの高さに驚愕した。高い壁に挑戦する城選手を全力で応援し、さらにパラ・パワーリフティングやパラリンピックへの興味・関心を高めた。そして、今の自分に何ができるのか、ユニバーサルデザインやバリアフリーに対する興味・関心の向上など、生徒たちの心の変化が感じられた。</p> <p>3、オリンピック・パラリンピック新聞作成</p> <p>○ オリンピック競技は生徒たちも知っていたり、やったことがあったりがする競技が多く、歴史やルールを調べていくにつれて、知識を深めていく様子が見られた。パラリンピックはまったく知らない競技もあり、興味をもって調べ学習に取り組むことができていた。オリンピック・パラリンピック新聞の作成は現在進行中のものであり、完成しだい2020年東京オリンピック開催まで学校の掲示物として活用する予定である。</p> <p>○ 生徒の感想の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが元気になれるビックイベントだと思った。</li> <li>・障害がある方が怪我や病気で、一度とん底に突き落とされたにも関わらず、スポーツを通して生きる希望をもてるようになったことがすごいと思った。</li> <li>・スポーツは見るだけじゃなく、応援したり、支援したり、することで関わると知って、今までよりもっともっと興味がわきました。</li> <li>・日本を応援したくなった。</li> <li>・自分がもし、障害を負ってしまったら城選手のように頑張れるか不安です。城選手も様々な人に支えてもらっていたと思うので、私も困っている人がいたら助けようと思いました。</li> <li>・オリンピックだけでなく、様々な競技をテレビで見るようになりました。</li> <li>・ニュースを見るようになりました。</li> <li>・多目的トイレの多目的には、とても広くて深い意味があることに気付いた。</li> <li>・城選手はすごい。</li> <li>・オリンピックの歴史の深さに驚きました。東京で行われるのが楽しみです。</li> <li>・城選手の講話を聞いて、自分は甘いなと感じました。そしてこの話を聞いた一人ひとりが自分にできることを探して、一つでも人のために行動を起こすことが、みんなが住みやすい社会をつくり、平和につながると思いました。</li> </ul> <p>○まとめ</p> <p>この取組を通し、多くの生徒がスポーツやオリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高め、社会における自分のあり方や、自分にできることを模索し、行動しようとする様子が見られた。この一人ひとりの小さな心の変化が社会に良い影響をもたらし、住みやすい社会や世界平和につながると感じた。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	特にありません。
8主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、保健体育科の学習としての実践であったが、総合的な学習の時間や他教科との関連を図る必要がある。</li> <li>・実施はしたが評価段階で甘さがあった。</li> </ul>
9来年度以降の実施予定	<p>○オリンピック・パラリンピックの開催に向けての理解を確かなものにするとともに開催に向けてのムードを盛り上げる。</p> <p>具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①校内環境整備(生徒自作の新聞、ポスター、日めくりカレンダー、キャラクター等の設置)</li> <li>②保健体育のみならず、他教科の学習と総合的な学習の時間を連携させた学習活動を設定する。</li> <li>③オリンピック・パラリンピックの競技に関連した選手やスタッフの方々を招いて講演活動や体験活動を行う。</li> <li>④オリンピックやパラリンピックに関する情報を掲示できる専用スペースを設置し、新しい情報を順次更新しながら掲示する。</li> <li>⑤部活動との連携を図り、放送部の昼の放送で情報発信をする。</li> </ol>